

Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創 立：1980年(昭和55年)11月10日
 会 長：泉 憲一
 幹 事：亀井 直人
 副幹事：山回 哲司
 例 会：日 毎週木曜日PM12:30～
 会 場：ビルト名古屋

事 務 局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
 T E L：052-211-3803
 F A X：052-211-2623
 M A I L：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/



第1641回例会

～識字率向上月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2014年3月27日(木) 晴 第37回

司 会：梅村昌孝会場委員長
 齊 唱：「日も風も星も」

会長挨拶

泉憲一会長

みなさん、こんばんは。最近、花粉でも黄砂でもないはずなのに喉や鼻が調子悪いという方は、もしかしたら「PM2.5」という大気汚染物質が原因かもしれません。今日はこの「PM2.5」についてお話ししたいと思います。



この「PM2.5」という言葉は、2013年の流行語大賞にノミネートもされていた言葉で、記憶に新しいと思います。意味は、「空气中に浮遊する2.5マイクロメートル以下の粒子」の事であり、自動車、火山灰、黄砂、カビなどにかく2.5マイクロメートル以下であれば何でもPM2.5と呼ばれています。

今年に入って、日本各地で「PM2.5」の大気中濃度が国の暫定指針値を超える可能性があるとして、各自治体が暫定指針の運用を開始して以来、初めて注意を呼びかけました。直近では、3月17日に愛知県初の注意喚起情報を発令しました。先月もJR大阪駅周辺のビルがかすんで見えただけで、中日新聞の記事によると、「中国から飛来する黄砂の濃度が高い日は、病気による救急搬送の数が増えるとの研究結果が出た」と掲載されました。又ルートを解析した結果、大陸沿岸の工業地帯から出る大気汚染物質は、高い高度より低い高度で通ってきた方が、微生物などが多く混ざってくるのが原因ではないかと見られています。

しかし、何より恐ろしいのは、中国の大気汚染問題は建国以来最悪といわれるほど深刻なのに、中国本土でマスク姿で街を歩いている人は一割にも満たないということです。

「汚染が深刻すぎて、外出時だけマスクをしても意味がない」と、改善しない汚染に感覚がマヒしているのではないかと言われています。中国でここまで大気汚染が深刻化している原因は、

- 第1番目は、工場から排出される煙の規制がゆるいこと
- 第2番目は、燃料やガソリンの質が悪い
- そして第3番目が、古いディーゼル車も多く走っているなどが考えられます。そのうえ、長年にわたって無秩序な生産

活動を許し「環境より成長」と排ガスやばい煙の規制をしなかったことが、人々の健康をむしばんでいるのです。現に中国医師協会などの調査では、北京、上海、広州など大都市の八割近い住民に呼吸器系の異常が見つかったといえます。汚染物質は偏西風に乗る、日本や韓国へも拡散しています。世界第二の経済大国となった中国は何よりも住民の健康を重んじ、経済成長至上主義にブレーキをかけるべきだと思います。

吸い込まないための予防策としてはマスクをすることですが、PM2.5は髪の毛の太さの30分の1、スギ花粉の12分の1という小ささで、普通のマスクでは防げません。最近ではウイルスを99%カットできるマスクやPM2.5専用マスクも売られています。

今や天気予報の「PM2.5分布予測」もあるほど、私たちの生活と密接な関係になってしまったPM2.5。気づかぬうちに、長い付き合いになっていたのでしょうか。マスクをしたり外出を控えるなど、自己防衛はもちろんですが、できれば根本的な解決を願いたいところです。一人ひとりが家庭や職場でできる節電をこころがけて、地球温暖化を防ぐことで緩和されると思います。

出席報告

関谷俊征出席委員

会員62名 出席43名 (出席計算人数44名)

出席率 81.1% 3月20日は補填により 94.0%

ニコボックス

関谷俊征ニコボックス委員

- ・3月31日で52歳になります! 酒井 俊光さん
- ・3月17日は結婚記念日でした。 渡辺喜代彦さん
- ・3月20日は女房の誕生日でした、お花をありがとうございます。女房も65歳になり、老人パスの仲間入りです。 岩田 修司さん
- ・今日、つたない話を聞いてもらいます。宜しく願います。 近藤 雄亮さん
- ・花見の季節になりました。家の近くの山崎川のライトアップが明日から始まります。 大嶽 達郎さん
- ・例会欠席が続きました。 田中 隆義さん
- ・台北延平ロータリークラブでは、子供連れで大変皆様にお世話になりました。ありがとうございました。 鶴田 浩さん
- ・本日のIDM、よろしく願います。 岩田 吉廣さん
- ・いよいよ明日より、プロ野球開幕です。 山口 哲司さん

幹事報告

亀井直人幹事

・次週4月3日(木)ヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第10回理事会を行います。

I.D.M

開催趣旨説明:加納裕クラブ奉仕委員長

皆さん、こんばんは。本年度のI.D.M.は国際ロータリー第2760地区2014-2015年度ガバナーエレクトとして近藤雄亮さんが選出されています。これまでで約半分の各会議やセミナーが終わりました。今後は3月30日(日)に地区研修・協議会のための指導者会議、4月13日(日)に地区研修・協議会があります。本日は近藤さんに本音かつ楽しいお話を伺いたいと思います。その後は、各テーブルでロータリークラブについてやガバナーに関する話をしながら食事をお楽しみ下さい。



近藤雄亮ガバナーエレクト

こんばんは。まずは1月にサンディエゴで行われた国際協議会についてお話をさせていただきます。出発前に先輩方から「国際協議会は色々大変だぞ」と脅かされていたのですが、実際は非常に快適であり勉強にもなりました。用意されているはずのガバナージャケットが写真撮影に間に合わなかったというハプニングもありましたが、食事会では着物姿の妻を見直し、国際祭りの夕べや自由行動も満喫しました。閉会晩餐会には次のような楽しい演出もありました。6月にシドニーで行われる国際大会のアピールのためオーストラリア人スタッフがオーストラリア訛りの英語で話し、それを司会がアメリカ英語に通訳をするというものです。非常に面白く、同席していたオーストラリア人も楽しんでいました。この様に淡々としがちな会議に強弱をつけ場を盛り上げる部分は我々ロータリークラブでも見習いたいと感じました。また印象に残ったのはR.I.元会長であるキング氏がお話しになられた「ロータリーモーメント(心に残るロータリー体験)」です。内容もさることながら、「相手に感動を与えつつ話をする自分自身も感動をする」という彼の話し方が特に印象的でした。「国際協議会に行く前と後では考え方が大きく変わる」とはよく言われますが、このように印象に残ることがあったり感動を与えられたりすると心が動かされます。同じ様に、大変なことがあってもそれを上回る印象的な出来事や感動がある、それがロータリーの基本なのではないでしょうか。

ロータリークラブについて「力のある非常に素晴らしい団体だが、その良さを会員自身が十分に理解出来ていない」との指

摘がありました。これからロータリークラブはどうあるべきでしょうか。勉強会や研修会でクラブの素晴らしい所を皆が理解できるようにしていけたらと思います。また他クラブへの訪問もよい経験になると思います。

11月にはロータリーデーが開催されます。この3日間はロータリアン、ロータリーファミリーだけでなく一般の方も一緒に楽しみながら、ロータリークラブの良いところを理解していただく日です。最終日にはジャパン・ロータリーデーを開催することがほぼ決定いたしました。皆様のクラブに対する理解が深まるような記憶に残るイベントになればと思っています。そしてそれが自分なりのロータリーモーメントになれば幸いです。



乾杯挨拶:松波恒彦直前会長

本日は私の決意表明をさせていただきます。名古屋瑞穂RCにはゴルフをされる方がたくさんいらっしゃいますので、最近再びゴルフを始めました。しかし、久しぶりなのでなかなか上手いきません。「今年中にスコア90を切る」「長瀬さんより上手くなる」を目標に頑張ります。これからも皆様とゴルフを楽しみたいと思います。それでは名古屋瑞穂RCの変わらぬ友情を祈念して乾杯とさせていただきます。乾杯!

閉会挨拶:長瀬憲八郎副会長

当地区の指針は「行事への積極的参加」「多様性の再認識」「奉仕の理想と実践」「会員増強」となりました。私からも皆様にロータリーデー及び青少年育成事業へのご協力、会員増強をお願い致します。今後も近藤さんがお話をする機会がございます。近藤さんの話をよく聞き、一人一人がよく考え、地区内ロータリアンの方からガバナー方針・指針について問われた時に各自がきちんと答えることが出来るように勉強をしておいていただける様にお願いをして、閉会の挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

例会のご案内

■今週の卓話 4月3日(木)

卓話講師：名古屋市熱田区長 宮木哲也さん
大学と連携したまちづくり
テ - マ：～地域の活性を活かして～

■次週の行事 4月6日(日) 春の家族会

場 所：高山 料亭「洲さき」

■4月10日(木) 振替により休会